

# ICT活用工事の現場において見学会を開催しました

H28橋門整正工事においてICT  
建設機械の試乗体験やUAV  
(ドローン)、GNSSローバーなどの  
測量機器の説明を実施しました。

UAV(ドローン)などの測量機器



ICT搭載の建設機械(MCバックホウ)



起工測量(ドローン)

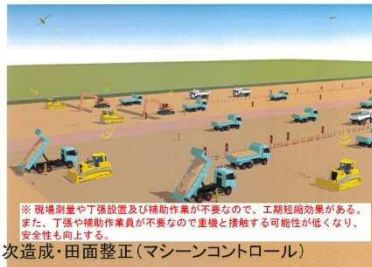


※ 地形測量、縦断測量、横断測量と同じ場所でも3種類の測量が必要な現在の測量方法に比べ、このUAVによる測量は、わずか1回のフライトですべての測量を網羅することができる。  
このため、従来の測量に比べて大幅な作業時間短縮が可能となる。

一次造成



※ ICT建機を使用することで計画高以上掘削することがないので、オペレーターの熟練度には左右されることが無く、地山を傷める心配もなし!!  
※ ICT建機使用前には、GPSの補正・確認を1日に2回(午前・午後)行なってから作業を開始するとより良い精度での施工ができる。



掘削・一次造成・田面整正(マシンコントロール)

出来形測量



※ 起工測量と同様に地形測量、縦断測量、横断測量と同じ場所でも3種類の測量が必要な現在の測量方法に比べ、このUAVによる測量は、わずか1回のフライトですべての測量を網羅することができる。  
このため、従来の測量に比べて大幅な作業時間短縮が可能となる。  
※ 3次元モデル検査では、ヒートマップでの検査となるため従来のような出来形管理表が必要がないので、検査書類の作成が大幅に削減できる。

- 開催日:平成28年12月13日(火)
- 場 所:茨城県行方市小高干拓地内
- 参加者:栃木県建設技術協会県庁地域部会(19名)  
発注者(霞ヶ浦河川事務所4名)  
工事受注者((株)波崎建設3名)  
協力会社(コマツレンタル(株)2名)

ICT搭載の建設機械(MCブルドーザ)



株式会社波崎建設  
現場代理人 下館 剛樹

実際にICT建機やローバーなどに直接触れていただき、たくさんの方々にICTの素晴らしさを知っていただけたと思います。  
次回は、学生向けに見学会を開催し建設業への興味・関心が高まると嬉しいです。